

信州の 農業 遺産

魅力ガイド



田植の頃の拾ヶ堰



『疏水』とは…

農業用水路など利水を目的に造られた水路の総称で、県内には2万kmにもおよぶ農業用の疏水があります。稲作文化の発展とともに地形や厳しい気象などさまざまな困難を克服すべく、そこに挑んできた先人たちの努力と英知の積み重ねによって現代まで大切に受け継がれてきました。

農産物の生産に必要な用水を供給することはもちろん、地域の文化や伝統とともに歩んできた歴史があり、故郷の景観を織りなし、生き物を育むなど、多様な魅力を兼ね備えています。

将来にわたって疏水の役割が維持され、美しい農村の景観と国土が守られるよう、農林水産省が、全国110ヶ所を「疏水百選」として選定し、県内では全国で最も多い5ヶ所が選ばれました(平成18年2月選定)。



『棚田』とは…

傾斜がきつく狭い地形において、階段状に造られた大小さまざまな形の水田の集まりで「千枚田」ともいわれています。その立地条件を活かした特色ある農業生産の場となっていることはもちろん、急峻な地形を巧みに利用した農業を通じて国土・環境の保全や伝統文化を継承し、四季折々の美しい景観は日本の原風景を織りなしています。

昔ながらの農法により栽培した米を地域のブランドとして販売していたり、都市住民と協働での農作業や保全活動、イベントも行われています。

その保全や地域活動を推進し農村への理解を深めるため、農林水産省が、全国134ヶ所の棚田を「日本の棚田百選」に認定し、県内では全国で最も多い16ヶ所が選ばれました(平成11年7月認定)。



『ため池』とは…

降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために水を溜め、必要なときに取水できるように、人工的に造った池のことです。県内には1,700ヶ所余りのため池があり、古くは江戸時代以前に造られたものも数多くあります。その利用目的は、水量の確保のほか、冷たい雪どけ水を一時蓄え、水を温めることにより米の収穫量を増やすためのものや、山からの水に含まれる鉄分を沈殿させて稲の生育障害を防ぐものもあります。

また、多様な生態系を育む水辺空間を形成し、豊かな景観を織りなし、地域の人々や観光客にも親しまれています。

ため池の歴史や多様な役割、保全の必要性を国民の皆様に理解いただく契機とするため、農林水産省が、全国100ヶ所を「ため池百選」として選定し、県内では5ヶ所が選ばれました(平成22年3月選定)。



CONTENTS

佐久エリア
上小エリア
諏訪エリア
上伊那エリア
下伊那エリア
木曾エリア
松本エリア
北安曇エリア
長野エリア
北信エリア

長野県全域マップ
佐久エリアマップ
上小エリアマップ
諏訪エリアマップ
上伊那エリアマップ
下伊那エリアマップ
木曾エリアマップ
松本エリアマップ
北安曇エリアマップ
長野エリアマップ
北信エリアマップ
主な農畜産物マップ